



ほけんだより



(8月・9月 合併号)

熊工定 保体部

1日:防災の日

前期の後半が始まりました。17日～22日は、期末考査、がんばってください！
気象に関しては、最近、予想外のことが起きています。気温の上昇による山火事や、季節外れの台風、線状降水帯、地滑り、竜巻、ヒョウが降るなど・・・いっどこで、何が起きてもおかしくない状況です。

自分の身は自分で守る！市町村に配られている「ハザードマップ」を確認し「どこに逃げるか」のシミュレーションをしておきましょう。

9月1日「防災の日」備蓄品の入れ替えや見直しをぜひして下さい。
「想定外」のことが起きると考え、大げさに準備を！

＊いつも＊



「防災の日」は、1923年（大正12年）9月1日、関東大震災が発生したことにちなみ、1960年（昭和35年）に制定されました。

★防災グッズも考えてみました。家族構成に応じて、考える参考にして下さい。



色覚検査について・・・

学校では、平成15年から健康診断の項目から外れましたので、希望者以外には実施していません。今も保健室にある検査表は、大昔から変わらない「石原式色覚検査表」です。これは、昨今の詳しい検査法と比べると、ずいぶん差異が出るらしく、当てにならないようです。就職においても進学においても、各種免許取得においても、必要無いので、今後も、学校で実施することはありません。

色覚とは、色の違いをわかる力というふうにとらえてきましたが、そもそも、色覚には「多様性」があります。ミツバチや蝶は蜜のありかがわかりやすい見え方をしています。鳥も、野生動物も、獲物を捕るのに必要な見え方をしているのです。けれど色の見え方は、同じ種でも少しづつ違っているようです。みんなが同じ色を見ているというわけでもないようです。これが色覚多様性です。色の区別がわかりにくい「色弱」と言われる場合にも本当に「弱い」のか？疑問です。なぜなら食われる側は、多数派の特性を逆手（さかて）に取った、カモフラージュを考えます。そのカモフラージュを見破ることのできるのが「色弱」の仲間だったりするのです。生き物は、本当によくできています。互いに支え合って生きているのです。また、昔のヒトは、色を「白・黒・赤・青」の4色で、とらえていたようです。これは世界共通らしく、この4色さえわかれば、生活するのには事足りていた時代だったのでしょうか。

色覚の詳しいお話は、裏面に載せていますので、是非、見て下さい。



心の健康「今月のカウンセラー」



心の窓を開こう

9月の来校日・・・8日（月）①②

26日（金）①②

※全学年の希望者と1年生面談の続きの予定だそうです。

色覚について、ぜひ、知っておいてほしいこと。

就職の時に必要があればという理由で、毎年、入学時に受診の希望を取っていましたが、2024年7月1日から鉄道運転免許の受験資格も見直され、航空、船舶、車などすべての免許が、色覚検査表の結果で判定せず、「パネルD-15テスト」にパスすれば正常とすると改正されました。

たとえ、色覚検査表で「異常」と判定されても、大半は、日常生活にも困っていないし、業務も支障なく行えるそうですから、本校でも今後、色覚に関する検査は行いません。



そもそも、色を判別するためには、3本の錐体(すいたい)が存在しています。

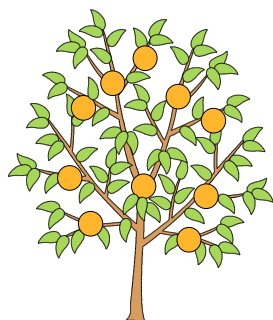
L：長い波長（赤）、M：中間の波長（緑）、S：短い波長（青）

(コンピューターが再現できる色は、最大1677万7216色もあります。)

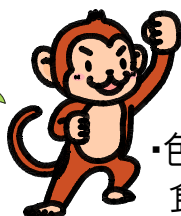
色覚には、「多様性」があり、多数派の3本ある人が皆、全く同じ色を見ているとは限らないようです。また、少数派である錐体が2本の人も、色の色の区別はできていて、日常生活で困ることは、殆どないのです。

研究の一例ですが…「中南米コスタリカに住む、お猿さんの場合」…

仮説「色の違いのわかる猿の方が、食料を得やすく、生き残るのではないか？」



3型多数派



・色の違いがはっきりわかるから、熟した実を見つけて食べられるんだよね！生き残るのに有利だと思う！



2型少数派

・色の違いはわかるし！
臭いでも、熟しているかどうか判断できるよ！

結論「どちらも普通に生き残っているので、色覚の差は関係ない！とわかった。」

照れるなあ



それどころか！2型少数派のお猿さんの方が…

木や石に擬態している昆虫を見つけるのが上手だし、

暗くなるとその力は、特にすごくなって、夕暮れに、危険な野生動物が忍び寄ってくる姿もいち早く気づいて仲間に教えることができます。

だから、2型少数派のお猿さんがいる群れは、とても安心なのです。

★同じ事が、古代の人間社会でも起きていたと考えられます。★

2型少数派の人は、その仲間にとって大変貴重な存在だったのです。

